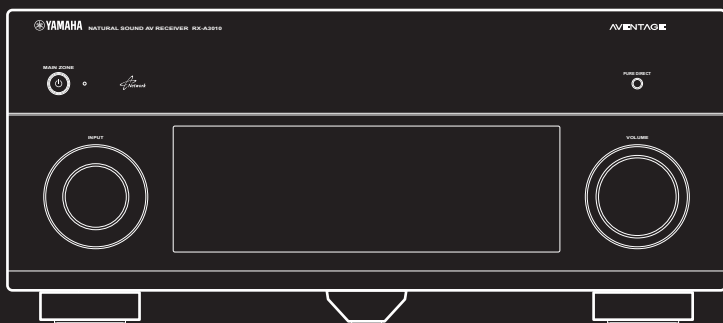


AVレシーバー

RX-A3010

かんたん設置ガイド



ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

本書では、9.1チャンネルシステムを設置して、
本機でBD/DVDのサラウンド音を再生するまでの手順を案内します。
詳しい説明は、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。

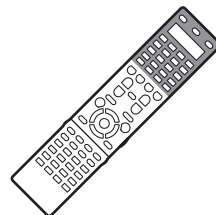
本書と「取扱説明書」のPDF版を以下のウェブサイトからダウンロードで
きます。

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

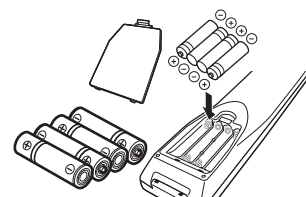
1 準備する

付属品を確認する

すべて揃っていることを確かめください。



☐ リモコン



☐ 単4乾電池 (4本)
正しい向き (+と-) でリモコンに入れてください。



☐ 電源コード



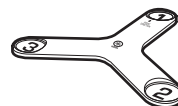
☐ AMアンテナ



☐ FMアンテナ



☐ YPAO用マイク



☐ マイクベース
YPAOの角度測定時に使います。



☐ 取扱説明書



☐ かんたん設置ガイド
(本書)

必要なケーブル

本書の説明どおりに接続する場合、以下のケーブルを別途で用意ください。

- ☐ スピーカーケーブル (9本)
- ☐ HDMIケーブル (2本)
- ☐ モノラルピンケーブル (1本)
- ☐ 光デジタルケーブルまたはステレオピンケーブル (1本)

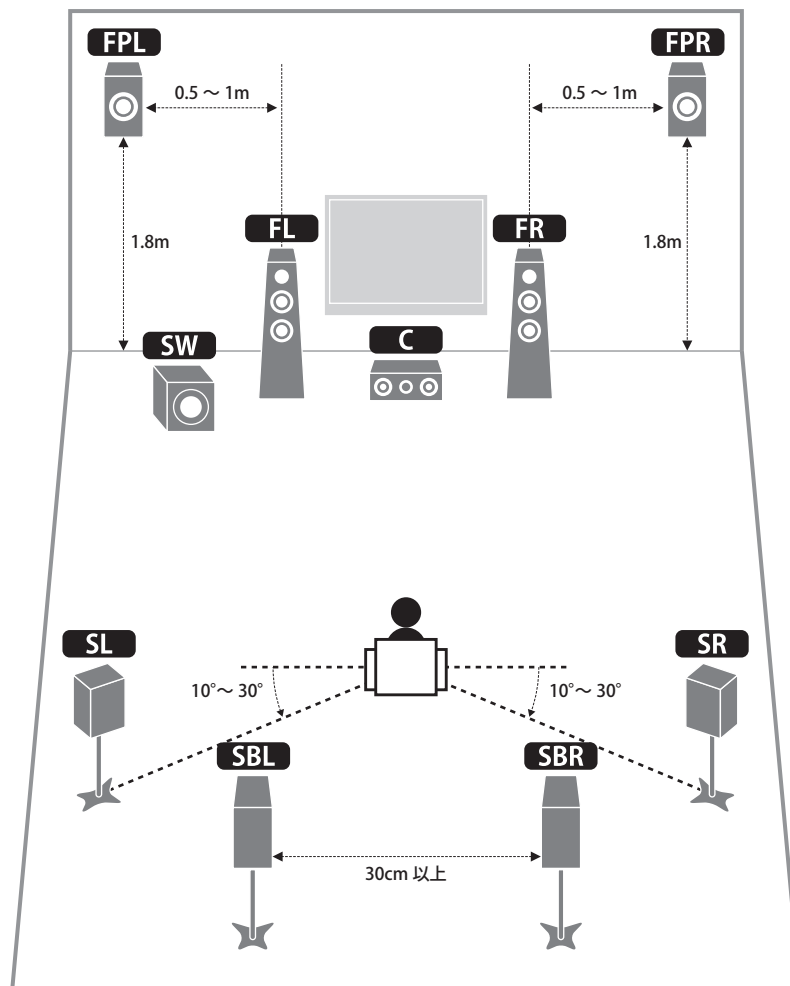
※ テレビがARC対応の場合は不要

2 スピーカーを部屋に配置する

下図を参考に部屋にスピーカーを配置してください。

9.1チャンネル以外のシステムでお使いになる場合は「取扱説明書」をご覧ください。

- FL** フロントスピーカー (左)
- FR** フロントスピーカー (右)
- C** センタースピーカー
- SL** サラウンドスピーカー (左)
- SR** サラウンドスピーカー (右)
- SBL** サラウンドバックスピーカー (左)
- SBR** サラウンドバックスピーカー (右)
- FPL** フロントプレゼンススピーカー (左)
- FPR** フロントプレゼンススピーカー (右)
- SW** サブウーファー



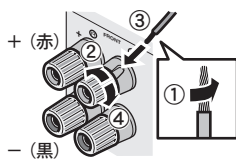
3 スピーカー/サブウーファーを接続する

- ・スピーカーはインピーダンスが6Ω以上のものをお使いください。
- ・サブウーファーはアンプ内蔵のものをお使いください。
- ・スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。また、サブウーファーの電源を切ってください。
- ・スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、本機の金属部に触れたりしないようにしてください。本機やスピーカーが故障する原因となります。スピーカーケーブルがショートしている状態で電源を入れますと、前面ディスプレイに「CHECK SP WIRES」と表示されます。

スピーカーケーブルを接続する

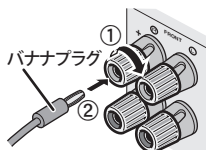
通常スピーカーケーブルは2芯（+と-）で1本になっています。片方で本機とスピーカーの-（マイナス）端子どうし、もう一方で+（プラス）どうしを接続してください。色で区別されている場合、黒を-（マイナス）側、もう一方を+（プラス）側と決めておく間違わずに接続できます。

- ① ケーブル先端の絶縁部（被覆）を10mmほどはがし、芯線をしっかりとよじる。
- ② スピーカー端子をゆるめる。
- ③ 端子側面（右上または左下）のすき間にスピーカーケーブルの芯線を差し込む。
- ④ 端子を締め付ける。

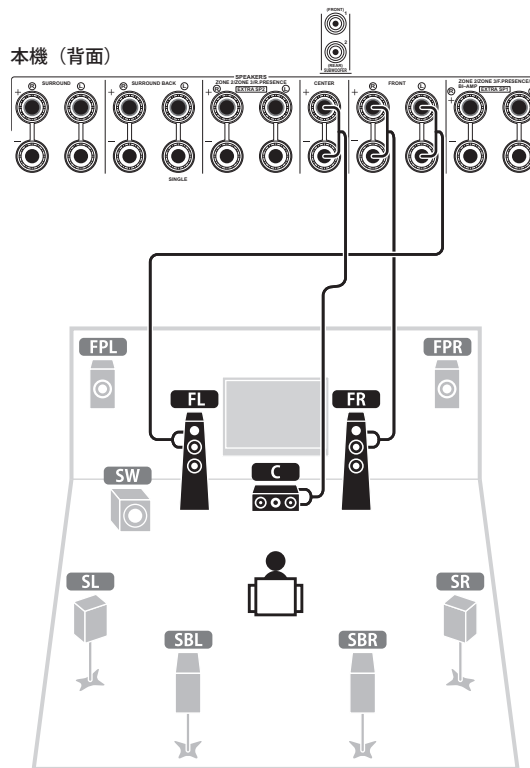


バナナプラグを使用する場合

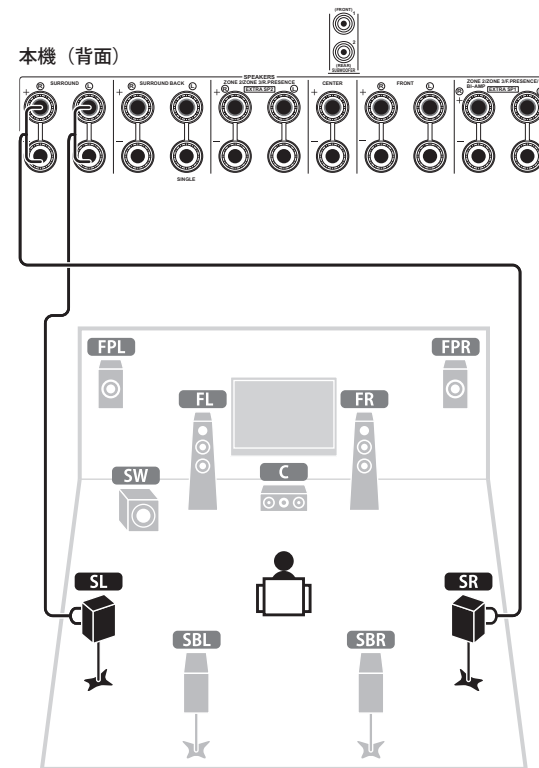
- ① スピーカー端子を締め付ける。
- ② 端子にバナナプラグを差し込む。



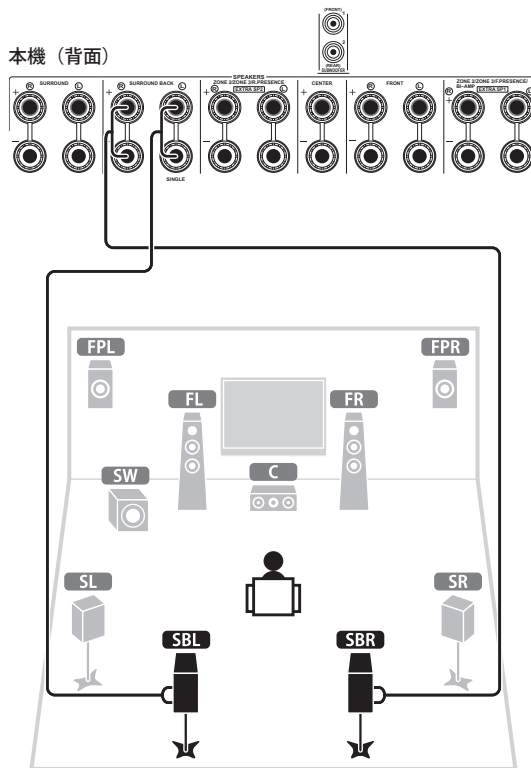
- 1 フロントスピーカー（**FL** / **FR**）を
FRONT（**L** / **R**）端子に、センタースピーカー
（**C**）をCENTER端子に接続する



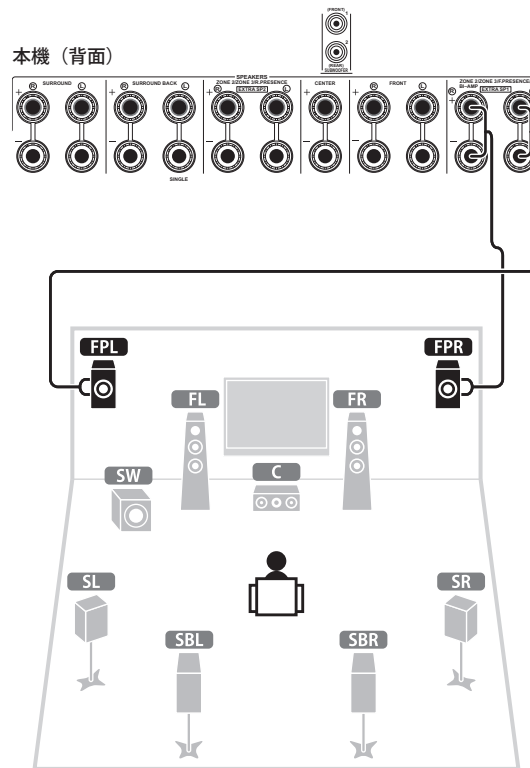
- 2 サラウンドスピーカー（**SL** / **SR**）を
SURROUND（**L** / **R**）端子に接続する。



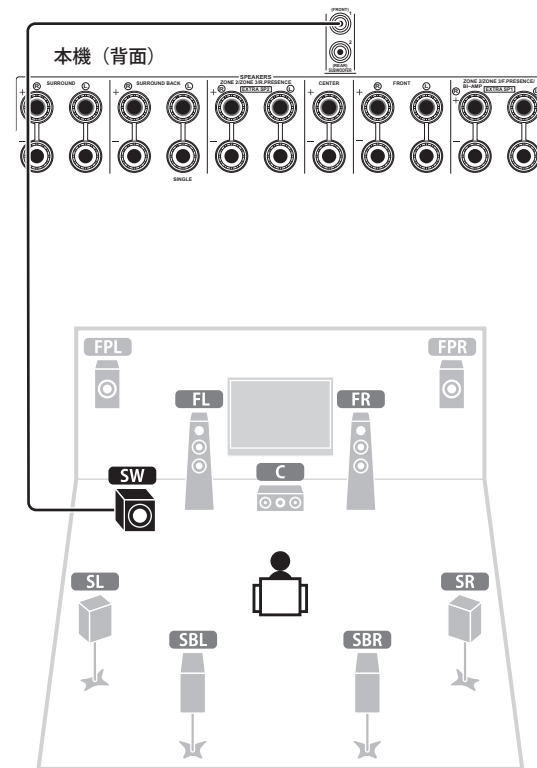
- 3** サラウンドバックスピーカー (SBL/SBR) を SURROUND BACK (L/R) 端子に接続する。



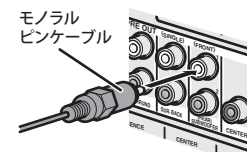
- 4** フロントプレゼンススピーカー (FPL/FPR) を EXTRA SP1 (L/R) 端子に接続する。



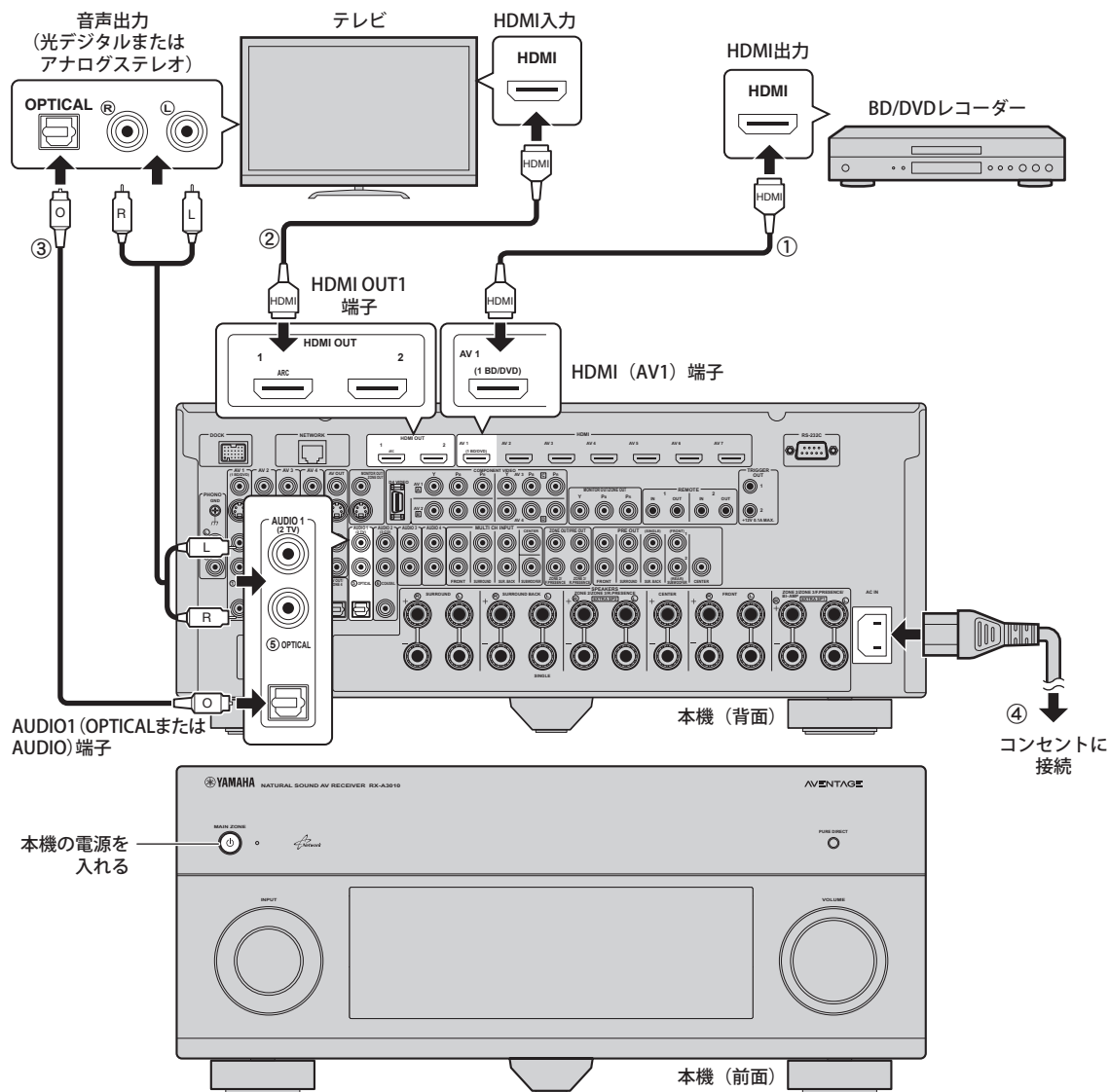
- 5** サブウーファー (SW) を SUBWOOFER (1) 端子に接続する。



サブウーファー (SW) の接続には、モノラルピンケーブルをします。



4 外部機器を接続する



1 外部機器を本機に接続する。

- ① HDMIケーブルでBD/DVDレコーダーと本機を接続する。
HDMIケーブルでBD/DVDレコーダーとテレビを直接接続している場合は、テレビ側からケーブルを取り外して、本機に接続してください。
- ② HDMIケーブルでテレビと本機を接続する。
- ③ 光デジタルケーブルまたはステレオピンケーブルでテレビと本機を接続する。
この接続によりテレビ音声を本機で聴くことができます。オーディオリターンチャンネル (ARC) 対応のテレビをお使いの場合は、この接続は不要です。
- ④ 付属の電源コードを本機に接続し、電源プラグをコンセントに差し込む。



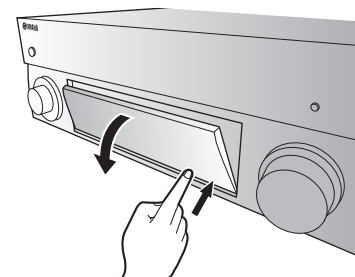
・ラジオのアンテナや、ほかの機器を接続する場合は「取扱説明書」の「準備する」(15 ページ)をご覧ください。

2 本機、テレビ、BD/DVDレコーダーの電源を入れる。

3 テレビのリモコンを使って、テレビ側の入力を本機からの映像に切り替える。

これで接続は完了です。次ページでスピーカー設定の自動調整を行ってください。

前面カバーを開く



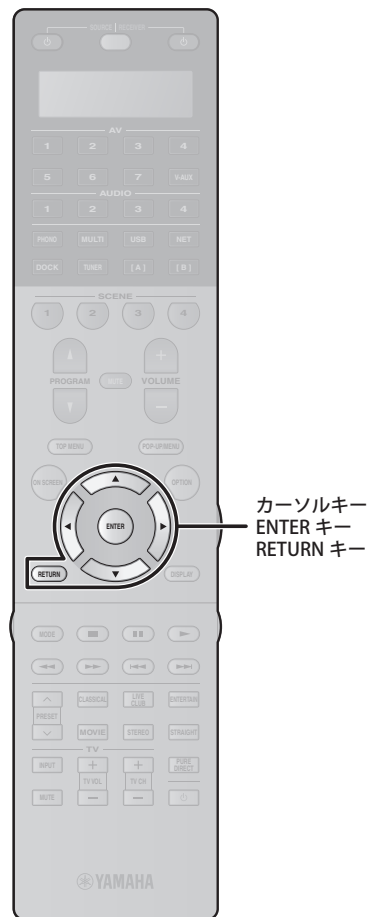
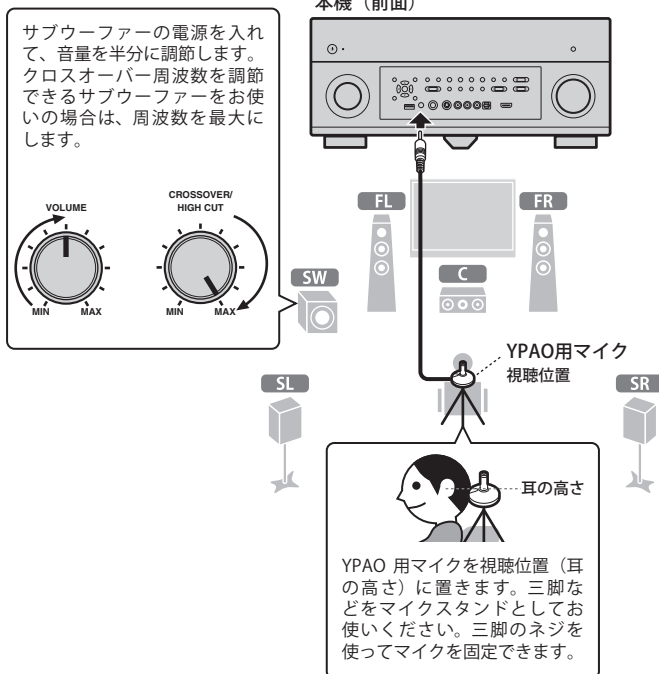
カバーの下側をそっと押す。

5 スピーカー設定を自動で調整する(YPAO)

付属のYPAO用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します(YPAO: Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。

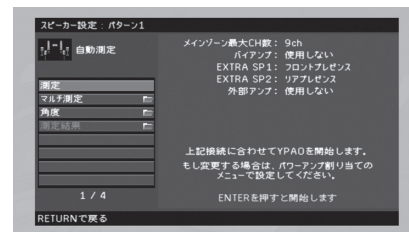
- 測定中は大きな音が出されます。小さなお子様がいいらっしゃる場合は十分に配慮ください。また、ご近所への迷惑とならないよう夜間の使用は控えてください。
- 測定中は音量を調節できません。
- 測定中は部屋を静かに保ってください。
- ヘッドホンは接続しないでください。
- オートスタンバイ(自動的に電源を切る機能)対応のサブウーファーをお使いの場合は、該当機能を無効にしてください。
- 測定中は部屋の隅に移動するか退出して、スピーカーとYPAO用マイクの間を遮らないようにしてください。所要時間は約3分です。

YPAOを始める前の準備



1 YPAO用マイクを前面のYPAO MIC端子に接続する。

テレビに次の画面が表示されます。

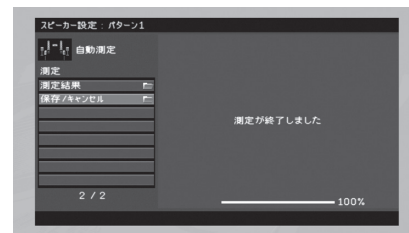


- 操作を中止する場合は、測定前にYPAO用マイクを取り外します。

2 測定を始めるには、カーソルキーで「測定」を選び、ENTERキーを押す。

10秒後に測定が始まります。

測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。



- エラーメッセージ(E-1など)や警告メッセージ(W-2など)が表示された場合は「取扱説明書」の「エラーメッセージ」(54 ページ)または「警告メッセージ」(55 ページ)をご覧ください。
- 警告メッセージ「W-1:SP接続逆相」が表示された場合は「「W-1:SP接続逆相」が表示された場合」(次ページ)をご覧ください。

3 カーソルキーで「保存/キャンセル」を選び、ENTERキーを押す。



4 カーソルキーで「保存」を選び、ENTERキーを押す。

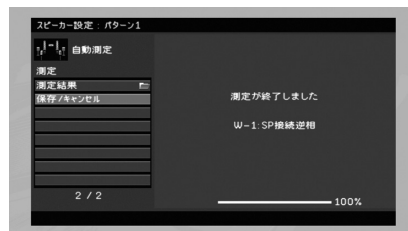


5 YPAO用マイクを本機から取り外す。 これでスピーカー設定は完了です。

YPAO用マイクは熱に弱いため、高温になる場所 (AV機器の上など) や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。

「W-1:SP接続逆相」が表示された場合

以下の手順でスピーカーの接続を確認してください。
スピーカーの種類や設置環境によっては、正しく接続されていても警告メッセージ「W-1:SP接続逆相」が表示されることがあります。



- ① カーソルキーで「測定結果」を選び、ENTERキーを押す。
- ② カーソルキーで「結線確認」を選ぶ。
- ③ 「逆相」と表示されているスピーカーのケーブル接続 (+と-)を確認する。

正しく接続されている場合:

測定結果をそのまま保存して問題ありません。
RETURNキーを押してから、手順3以降を実行してください。

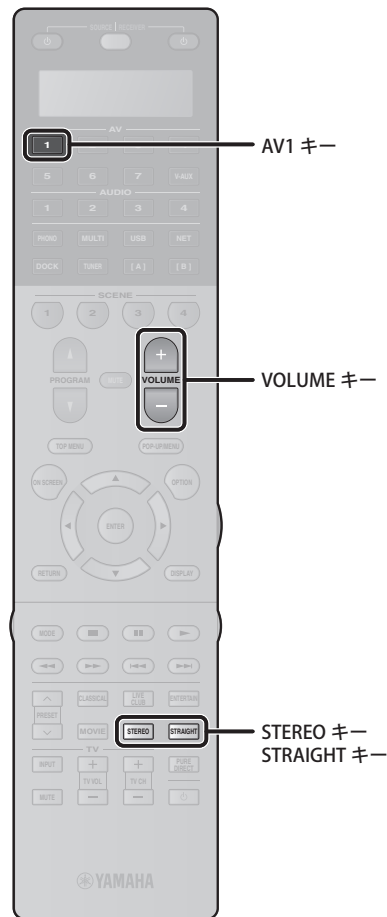
間違って接続されている場合:

本機の電源を切ってからスピーカーケーブルを接続し直して、もう一度YPAOを実行してください。

6 BD/DVDを再生する

実際にBD/DVDを再生してみます。

サラウンド感を体感するために、マルチチャンネル音声(5.1ch以上)が収録されているディスクの再生をおすすめします。



1 AV1キーで本機の入力を「AV1」に切り替える。



2 BD/DVDレコーダーでBD/DVDを再生する。

3 STRAIGHTキーを繰り返し押しして「STRAIGHT」を選ぶ。



- ・「STRAIGHT」(ストレートデコード)を選ぶと、ディスクに収録されている各チャンネルの音声は各スピーカーからそのまま出力されます。したがって、9.1チャンネルシステムで5.1チャンネル音声を再生している場合、サラウンドバックスピーカーとフロントプレゼンススピーカーからは出力されません。すべてのスピーカから音が出るか確認するには、STEREOキーを繰り返し押しして「9ch Stereo」を選んでください。

4 VOLUMEキーで音量を調節する。



これで5.1または7.1チャンネルシステムを設置して、本機でBD/DVDのサラウンド音を再生するまでの手順は完了です。

音声サラウンドにならない場合

マルチチャンネル音声を再生してもフロントスピーカーからしか音が出ない

BD/DVDレコーダー側のデジタル音声出力設定をご確認ください。

PCMなど、常に2チャンネルで出力する設定になっている可能性があります。

音が出ないスピーカーがある

「取扱説明書」の「故障かな?と思ったら」(136 ページ)をご覧ください。

さらにこんな機能も!

ほかにもたくさんの機能があります。

別冊の「取扱説明書」をご参照のうえ、本機の性能を十分に活用ください。

BD/DVDレコーダー以外の機器を接続する(36 ページ)

CDプレーヤーやレコードプレーヤーなどのオーディオ機器、ゲーム機やビデオカメラなどさまざまな外部機器を接続できます。

好みのサウンドを選ぶ(59ページ)

映画、音楽、ゲーム、スポーツ番組など、視聴する内容に合わせてお好みの音場プログラム(シネマDSP)やサラウンドデコーダーを選べます。

iPodの曲を再生する(67 ページ)

iPod付属のUSBケーブルや、オプションのヤマハ製iPodドックまたはiPodワイヤレスシステムを使って、iPodの曲を本機で再生できます。

● FM/AMラジオを聴く(64 ページ)

● USB機器の曲を再生する(74 ページ)

● パソコンの曲を再生する(77 ページ)

● インターネットラジオを聴く(80 ページ)

詳しくは「本機でできること」(6 ページ)をご覧ください。

ヤマハ株式会社